

株式会社メトラン (埼玉県)

～ 医療機器開発で世界を救う ～

1. 血筋と気質と頑張りで起業

トラン・ゴック・フック社長はベトナム生まれのベトナム人。昭和43年に日本に留学したが、大学を卒業して、ベトナムに帰ろうという時に社会主義国家が建国され、帰国することができなくなってしまい、ベトナムの実家は財産をすべて失ってしまった。

このような事情から、日本で一から働こうと決意して会社勤務を始めた。一生懸命働いて成績も良かったが、組織に馴染めず昭和59年に自身でベンチャーを立ち上げた。

フック社長の家系は代々いくつもの会社を経営しており、また、社長によればベトナム人には人に雇われるよりも、人を雇う立場に立ちたいという気質がある。フック社長が同社を設立したのは必然だった。

設立当初から独自の医療機器の開発を進め、最初に開発したのが、高性能・高精度の高頻度振動換気を実現した高頻度人工呼吸器「ハミングバード」である。高頻度振動換気とは、解剖学的死腔量よりも小さいストロークボリューム（一回駆出量）で高頻度の換気を行う呼吸管理方法であり、人体への危険性が低い方法である。

昭和59年、同社は、アメリカ国立衛生研究所主催の高頻度人工呼吸器コンペティションに「ハミングバード」で参加し、見事優勝を飾り、その場で85台を受注した。

今では「ハミングバード」は広く欧米諸国にも認識され、新生児医療の現場にはなくてはならない装置となっている。

2. 特許を武器に海外展開

国内の人工呼吸器の市場は100億円と言われているが、その96%が外国からの輸入品で、残りの小さな市場を同社の製品がほぼ占有している状況である。国内市場でこれ以上のシェア拡大は難しいと認識しており、フック社長は、海外市場に期待をかけている。海外では、性能が優れていればすぐにも採用される可能性が高く、よい製品を受け入れる素地がある。

海外での交渉では知財が重要な役割を果たし、特許を取得しているか、せめて出願中であることが必須要件となる。

知財戦略は難しい、とフック社長はいう。特に中小企業は資金や人材が少なく、いつ、どこで、どのようなリスクを負って戦略を仕掛けるのか判断が難しい。それでも知財は同社の事業展開にとって大きな力となっており、これからも知財を活かした経営を心がけていく考えである。

フック社長のアイデアは、人工呼吸器の分野以外でも様々な分野で生み出されているが、起業当初からの医療機器の開発については、特にこだわりがあるという。それは、医療が人命を救ったり、安心、健康を提供することができるからで、世の中の人

が幸福になるための社会貢献を、医療機器開発をすることで果たしていきたいと強く思っている。

【保有権利に基づく製品例】



新生児・小児用人工呼吸器
ピストンHFO/IMV
ハミングV

小児・成人用人工呼吸器
ピストンHFO/IMV
Calliopeα

小児・成人用人工呼吸器
ロータリHFO/IMV
R100

<会社概要>

名称及び代表者名	株式会社メトラン 代表取締役 トランゴックフック (新田 一福)
本社所在地	埼玉県川口市川口2-12-18
創業	1984 (昭和59) 年
資本金	8,750万円
従業員数	24名
主要製品	人工呼吸器、麻酔器、医療用モニター
電話	048-242-0333
URL	http://www.metran.co.jp/